

令和元年度 第2回社会福祉審議会議事録（要点筆記）

日 時 令和2年2月19日（水曜日）
10時00分～10時45分

場 所 江別市民会館37号室

出席委員数 20名

出席：飯塚 正美、五十嵐 友紀子、稲垣 修、柏尾 久実子、鎌田 直子
河治 昭、北澤 多喜雄、木村 誠、小高 久子、佐藤 功、
佐藤 レイ子、角江 信彦、高垣 智、東 則子、帆苺 祐一、
松村 昭二、八巻 貴穂、山崎 道彦、山本 みき、米内山 陽子

欠席：大澤 真平、小鷹 正信、今野 渉、吉田 達臣

事務局：健康福祉部長 佐藤 貴史、健康福祉部次長 三上 真一郎、
健康推進室長 五十嵐 工、子育て支援室長 岩渕 淑仁、
障がい福祉課長 山岸 博、国保年金課長 石田 賢治、
医療助成課長 清水 さおり、介護保険課長 浦田 和秀、
介護保険課参事 鈴木 一成、健康推進室参事 渡部 学、
子育て支援課長 四條 省人、子ども育成課長 中村 哲也、
管理課長 村田 和陽、管理課総務係長 深見 亜優、
管理課総務係 菅原 ゆかり

傍聴者 1名

議 題

（1）人事案件

- ア 部会に所属する新任委員の指名
- イ 部会長の互選

（2）報告事項

- ア 令和2年度予算案の概要について
- イ 第3期地域福祉計画の進捗状況について
- ウ 第4期地域福祉計画の策定について
- エ 第2期子ども・子育て支援事業計画の策定について
- オ 待機児童解消対策について

村田管理課長

本日はご多忙の中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。
これより令和元年度第2回「江別市社会福祉審議会」を開会いたします。
本日は24名の委員中20名の方にご出席いただいております、江別市社会福祉審議会条例第7条第1項の規定により委員の過半数が出席しておりますことから、本会が有効に成立していることをご報告いたします。

初めに、本日お配りいたしました資料の確認ですが、次第、ホチキス止めした資料が、資料1から資料3まで、そして、別冊1、別冊2でございます。
お手元の資料が不足している方は、挙手をお願いいたします。

議事が始まります前に、傍聴についてですが、この社会福祉審議会は、公開するものとなっておりますので、今回傍聴者がいらっしゃいますことから、入室を許可することをご報告いたします。

(傍聴者着席)

佐藤健康福祉部長 挨拶

佐藤会長

それでは、早速議事に入りたいと思います。
議題(1)人事案件のア「部会に所属する新任委員の指名」です。

事務局から報告をお願いします。

村田管理課長

この度、江別市民生委員児童委員連絡協議会から推薦されておりました、佐藤正勝委員が、昨年11月に退任されまして、後任に、江別市民生委員児童委員連絡協議会 会長の飯塚 正美委員が、委嘱されました。

部会の所属につきましては、江別市社会福祉審議会条例第5条第4項に基づき、会長が指名することとなっておりますので、よろしく願いいたします。

佐藤会長

それでは、私から指名させていただきます。

新任の飯塚委員には、退任された佐藤正勝委員が所属していた部会に所属していただくのがよろしいかと思っておりますので、飯塚委員の高齢者福祉専門部会へ

の所属を指名します。よろしくお願ひいたします。

飯塚委員、一言、自己紹介をお願ひしてもよろしいでしょうか。

飯塚委員 自己紹介

佐藤会長

それでは、議題（1）イ「部会長の互選」を行います。

退任された佐藤正勝委員は、高齢者福祉専門部会の部会長でしたので、新たに部会長を互選により選出しなければなりません。もしよろしければ事務局案を提示していただきたいと思いますが、委員の皆様、いかがでしょうか。

（異議なしの声）

佐藤会長

異議がないようですので、事務局案を提示してください。

村田管理課長

事務局としましては、前任の佐藤正勝委員と同じく、江別市民生委員児童委員連絡協議会からご推薦された、飯塚正美委員に高齢者福祉専門部会の部会長をお願ひしたい、と提案させていただきます。

佐藤会長

ただ今、事務局から飯塚委員を高齢者福祉専門部会の部会長にという提案がありましたけれども、委員の皆様いかがでしょうか。

（異議なしの声）

佐藤会長

異議がないようですので、飯塚委員を高齢者福祉専門部会の部会長に決定いたします。よろしくお願ひいたします。

ここで、事務局から名簿の配布をお願ひいたします。

（名簿配布）

佐藤会長

続いて、議題（２）報告事項 に入ります。

本日は、報告案件が５件あります。まず、報告事項 アの「令和２年度予算案の概要について」を議題といたします。

事務局から報告をお願いします。

三上健康福祉部次長

それでは、私から、令和２年度の健康福祉部所管に係る主な予算案の概要について、ご報告いたします。

資料１の１ページをごらんください。

令和２年度当初予算の基本方針ですが、第６次江別市総合計画「えべつ未来づくりビジョン」の後期５年間の２年次目となり、記載の４つの基本理念に基づき、各事務事業を進めていこうとするものであります。

なお、予算編成のポイント及び予算規模につきましては、下段に記載のとおりでございますので、後ほどご参照ください。

次に、資料の２ページをお開きください。

初めに、左上「健康都市推進事業」であります。健康都市宣言の趣旨に基づき、引き続き体験型イベントである健康フェスタを開催するほか、スーパーや直売所、飲食店等と連携した野菜摂取推進の啓発活動など、健康意識向上のための取り組みを実施するものであります。

次に、左下「(参考) 特定健康診査等事業」であります。特定健康診査受診率や特定保健指導利用率の向上に向け、北海道国保連合会の共同事業を活用した受診勧奨パンフレットを送付するなど、受診勧奨の取り組みを強化するものであります。

続きまして、３ページをごらんください。

左上の「介護人材養成支援事業」であります。介護人材の確保と介護職員の市内介護事業所への定着を図るため、新たに介護事業者との連携により、入門的研修や市内介護事業所での職場実習の実施など、介護人材の養成に向けた支援を行おうとするものであります。

同じく左下中段、「市民後見推進事業」であります。認知症や障がい等により判断能力が十分でない方々の生活を支援するため、新たに市民後見人養成講座を実施し、人材育成と活動体制の整備を進めようとするものであります。

続きまして、4ページをお開きください。

左上の「子ども医療費助成事業」であります。子育て世代など市民の皆様からも要望が多い子どもの医療費助成について、通院医療費の助成については、これまでの小学校就学前までから小学3年生まで、及び入院医療費の助成については、これまでの小学6年生までから中学3年生までそれぞれ拡大し、子育て世代に対する支援の拡充を図ろうとするものであります。

次に、右上の「子ども家庭総合支援拠点運営経費」であります。児童虐待防止対策強化のため、新たに「子ども家庭総合支援拠点」を整備し、「子育て世代包括支援センター」との連携により、子育て世代に対する切れ目のない支援体制の充実に努めようとするものであります。

次に、その下の「待機児童解消対策事業」であります。民間事業者が行う保育施設の整備を支援するほか、保育士等の人材確保に向け、奨学金返還支援などの助成制度を新設するなど、待機児童の解消に向けた取り組みを進めようとするものであります。

次に、右下の「病児・病後児保育事業」であります。病児・病後児保育を実施している事業者に対する支援を行うなど、引き続き保育環境の充実に努めようとするものであります。

続きまして、1ページ飛びまして、6ページをお開き願います。

左上の「放課後児童クラブ運営費補助金」であります。民間放課後児童クラブの運営に係る費用の一部を助成するほか、待機児童の発生が見込まれる小学校区に新たな放課後児童クラブの開設を検討し、開設の際の設置・運営にかかる費用の一部を補助するなど、放課後児童健全育成の充実に努めようとするものであります。

令和2年度予算案の概要についての報告は、以上でございます。

佐藤会長

ただ今の報告について、ご質問はありませんか。

(なしの声)

佐藤会長

それでは、次に、イの「第3期地域福祉計画の進捗状況について」を議題といたします。

事務局から報告をお願いします。

村田管理課長

地域福祉計画の進捗状況について、ご報告いたします。

「資料2」をお手元にご用意願います。

第3期江別市地域福祉計画は、平成27年度からの5か年間の計画でありまして、毎年、当審議会において進捗状況についてご報告しております。

今回、計画4年次目でございます平成30年度の評価結果がまとまりましたので、ご報告させていただきます。

「資料2」の一番最最後のページをご覧ください。

ページ番号がついていませんが、「平成30年度 主要施策別評価一覧」という一枚ものになっております。この資料は、江別市地域福祉計画において示されている基本目標、基本施策、その下の主要施策という体系に沿って、評価結果を数値で示した資料となっております。

体系のさらにその下にはたくさんの個別事業が属しておりますが、それらの事業について担当部署において、5は「非常に評価できる」、4は「かなり評価できる」、3は「普通に評価できる」、2は「少し評価できる」、1は「ほとんど評価できない」の5段階で評価し、平均したものが、右端の欄にある主要施策評価の数値となっております。

それを、さらに基本施策ごとに平均したものが、真ん中の欄に記載してあります基本施策評価の数値でございます。

参考としまして、計画初年度である平成27年度の数値も記載しております。

次に、評価結果ですが、全体の「総合評価」は、右上の欄にありますとおり「3.3」と順調に推移しております。なお、ここには記載していませんが、計画初年度である平成27年度の数値は「3.4」でございました。

各基本施策の評価数値につきましても、ご覧のとおり、概ね計画初年度と大きな変化はありませんが、右端の欄の主要施策評価の数値が、比較的变化の大

きかった項目としまして、「基本施策3」の「福祉を担う人材などの確保・育成」の③「企業などにおける地域貢献への働きかけ」の評価は、計画初年度「3.0」でしたが、今回の評価数値は「3.5」と、「0.5」ポイントの増となっております。

増加の主な要因としましては、江別管工事業協同組合のひとり暮らし高齢者宅の水廻り無料点検や、江別建設業協会の高齢者宅除雪ボランティアの貢献活動が、主な要因でございます。

また、「基本施策5」の「ボランティア団体などの活動促進」の③「ボランティア団体と自治会などの地域団体との連携促進」の評価は、計画初年度「4.0」でしたが、今回の評価数値は「3.4」と、「0.6」ポイントの減となっております。これは、大学と様々な分野で大学連携に取り組んできた「大学版出前講座」の実施件数の減と、社会福祉協議会で取り組んでいる「愛のふれあい交流事業」の実施事業数の減が主な要因でございます。

評価結果の概要は以上となりますが、「資料2」の1ページから6ページには、基本施策毎の取り組みの概要を記載しておりますので、内容につきましては、後ほどご参照いただきたいと思います。

佐藤会長

計画の評価という点では「3」というのがひとつの目安になると思います。「3」以上は計画したことが大体は行われてきたことを意味すると私は思っております。資料を見ますと概ね「3」以上で、特に大学との連携は「4」、生活困窮者支援対策の推進も「4」になっておりますので、計画は順調に推移したと考えますが、いかがでしょうか。

地域福祉計画の進捗状況について、皆様から何か質問やご意見はありますか。

(なしの声)

佐藤会長

それでは、次に、ウの「第4期地域福祉計画の策定について」を議題といたします。

事務局から報告をお願いします。

村田管理課長

私から第4期地域福祉計画の策定についてご説明いたします。

「別冊1」をご用意いたします。

「別冊1」の64ページをご覧ください。

計画案の内容全体につきましては、昨年10月30日に開催しました当委員会でご説明した内容から大きな変更はなく、昨年12月6日から令和2年1月6日まで、第4期江別市地域福祉計画・案に対するパブリックコメントを実施しまして、(1)に記載してありますとおり、2名の方から3件のご意見を頂き、(2)において、ご意見に対する計画への反映状況について、アルファベットのA～Eに分類してお示ししております。

また、頂きましたご意見に対する市の考え方につきましては、隣の65ページから66ページにかけて掲載しております。

なお、本計画の策定に関しましては、本年1月27日に開催の第5回地域福祉計画策定委員会で、この別冊1の内容でご了承いただき、策定委員会を全て終了しております。また、先日、2月14日の江別市議会の生活福祉常任委員会で本計画案のパブリックコメントの実施結果についてご報告しております。

今後の予定としましては、3月に、本計画案を確定し、印刷・製本にとりかかるところでございます。

佐藤会長

ただ今の報告について、皆様からご質問やご意見はありませんか。

(なしの声)

佐藤会長

次に、エの「第2期子ども・子育て支援事業計画の策定について」を議題といたします。

事務局から報告をお願いします。

四條子育て支援課長

それでは私から、第2期子ども・子育て支援事業計画の策定について、ご報告いたします。

別冊2をご覧ください。

第2期計画策定の主なポイントについてご説明させていただきます。

なお、この資料はパブリックコメント時点の案であり、次回子ども・子育て会議で修正の可能性がございますので、その点はご了承ください。

1ページをお開き願います。

「第1章 計画策定にあたって」では、昨年6月に改正された「子どもの貧困対策の推進に関する法律」により、市町村子どもの貧困対策計画策定が努力義務とされたことを受け、第2期子ども・子育て支援事業計画と子どもの貧困対策計画を一体的に策定することとしたところであります。

4ページをお開き願います。

「第2章 子どもたちを取り巻く現況」は、第1期計画期間における人口・世帯等の推移、子育て環境の状況、子育て支援事業の実績等、前計画の進捗状況などを検証するとともに、平成30年度に実施した「子ども・子育て支援に関するニーズ調査結果」などから計画策定に向けた課題を挙げております。

22ページをお開き願います。

「第3章 子ども・子育てビジョン」は、計画の柱となる部分であり、前計画の基本理念「みんなで協力、子育て応援のまち・えべつ」や3つの基本目標を継承しつつ、課題や国の動向などを踏まえ、より一層の子育て支援施策の充実を目指すこととしております。

42ページをお開き願います。

「第5章 量の見込みと提供体制」であります。量の見込みの算出に当たって、まず、計画期間における子ども人口の推計を行いました。

子ども人口の推計では、年少人口の社会増や宅地分譲の状況を加味し、就学前児童は令和3年度まで、小学生は令和6年度までそれぞれ増加すると見込んでおります。

子ども人口推計、昨年度実施したニーズ調査結果及び第1期計画期間中のニーズの変化等から幼児期の教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込みを算出しており、特に、保育及び放課後児童クラブの量の見込みについては、ここ数年のニーズの高まり、昨年10月に始まった幼児教育・保育の無償化によるニーズの変化等、引き続きニーズは高まると推計しております。

また、量の見込みに対する「確保方策・提供体制」及び「確保方策の考え方」を記載しております。

55ページをお開き願います。

「第6章 計画の推進体制」では、新たに成果指標を設定いたしました。

ページ中ほどの表にありますとおり、計画策定前に実施するニーズ調査のうち、「地域における子育て環境や支援について満足度が高い人の割合」を40%

とすることを目標として設定しております。

本計画は、現在パブリックコメントを実施しているところであり、3月2日にパブリックコメントを締め切った後、パブリックコメントで寄せられたご意見を踏まえ、3月上旬に子ども・子育て会議を開催し、3月中に計画を確定させる予定であります。

佐藤会長

ただ今の報告について、何かご質問、ご意見はありませんか。

山崎委員

43ページの江別市の将来人口の推計値についてですが、令和2年1月1日時点の人口が119,582人という報告があったと思うのですが、この計画の中の数字も1月1日時点の人口と捉えていいのでしょうか。

それと、令和2年から人口が15年ぶりに増えたということで、これからの見通しについてですが、例えばある3年間はもう少し増えるだろうというような見込みがあるのか、また、0歳から14歳の子ども人口も、年々減っていく見通しになっていますが、令和2年には人口が増えたので、子どもの人口も増えてくると見込んでいるのか、お聞かせいただければと思います。

佐藤会長

それでは今の質問について、事務局お願いします。

四條子育て支援課長

第1点目のいつ時点の人口であるかということですが、こちらの人口は4月1日をベースとしておりますので、令和2年に関しましては推定ということになります。ただ、ご指摘がありましたように、1月の人口が推計よりも多くなっているという状況にあります。この推計を行ったのが昨年秋ですので、今の数字と乖離しているところもありますが、子ども子育て会議に諮り、人口推計を行ったものということで掲載をしております。

同じく子ども人口についてですが、43ページの表でご覧いただいたとおり、平成31年度から令和2年度に対しては増加、令和2年度から令和3年度も増加、この流れは令和3年度までは続くものと推計をしております。

背景としましては、大規模な住宅分譲に伴って、住宅造成と同時に転入されるご家庭の中には未就学のお子さんを含むご家庭が多いことがあげられます。人口推計につきましては、将来に渡り長い期間を見据えることが難しいことは

ご理解いただきたいところがございますが、その中で、今回はコーホート法という人口推計方法に基づき算定を行ったところですが、住宅分譲の影響が一定程度落ち着いた後には、年少人口も含めた人口増加が若干緩やかになるものと想定しております。しかしながら、今後も江別市では住宅地の分譲や、住宅の住み替えなどが続くことも考えられますことから、これらの数字は、流動的に変動していくものであると認識しております。

この子ども子育て支援事業計画は、令和2年から6年までの5か年の計画として策定いたしますが、中間点において一度見直しを行うこととしております。令和4年度時点の子ども人口等が、現在推計したものと大きく乖離した場合、もしくはニーズの変化などにより子ども・子育て支援事業の見込みに変化が生じた場合につきましては、令和4年度の中間見直しで改めて検証したうえで、必要であれば見直しを行っていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

山崎委員

ありがとうございました。

佐藤会長

そのほか、ご質問ご意見ありませんか。

(なしの声)

佐藤会長

次に、オの「待機児童解消対策について」を議題といたします。
報告をお願いいたします。

中村子ども育成課長

待機児童解消対策についてご説明いたします。
資料3をご覧ください。

待機児童につきましては、子育て世代の転入や、女性の就業率の上昇等により、1～2歳児を中心に、年度当初において発生する状況が続いておりますが、その解消に向けて重点的に施策を進めているところでございます。待機児童の状況ですけれども、1の「保育に係る待機児童の状況」に記載しましたとおり、昨年4月1日現在で、国定義に基づく待機児童は発生していないものの、潜在的待機児童は88人となっており、平成30年度に比べて8人減少しております。

ます。10月1日現在では、0歳児が増加しまして、合計で170人の待機児童が発生しております。

このような中で、2の「令和元年度に実施した待機児童解消対策」ですけれども、(1)幼稚園の幼保連携型認定こども園への移行では、大麻藤幼稚園が、現在建替工事中であり、大麻藤認定こども園として、本年4月の開設に向けて準備を進めているほか、既存施設の定員見直し等によりまして、令和2年度当初におきましては、全体で48人の定員を拡大する予定でございます。

この結果、下の表にありますように、保育認定における提供体制は、1,670人となる予定です。

なお、表下段に※印で記載している企業主導型保育は、企業が従業員を対象として設置する保育施設で、制度上、認可外施設ですが、認可施設と同様の基準をクリアすることで、内閣府の助成を受け運営するものでございまして、市内では既に4施設開設してございまして、定員は計67人で、その一部を地域の方も利用できるものでございます。

今後についてですけれども、3の「令和2年度に実施する予定の待機児童解消対策」ですが、(1)の教育・保育施設の提供体制拡大としまして、教育・保育施設を公募し、約110人の提供体制拡大を図る予定でございます。

また、(2)の保育士等人材確保としまして、市内事業者を通して、保育士等の奨学金返還支援や宿舍借上に対する支援を行うほか、市内の学生や、潜在保育士を対象としました保育施設バスツアーなどを新たに実施する予定でございます。

いずれにいたしましても、今後も保育ニーズや待機児童の状況を把握しながら、安心して子どもを産み育てられ、就労と子育ての両立ができる環境づくりを進めてまいりたいと考えております。

佐藤会長

ただ今、待機児童解消の対策についての令和2年度以降に行う予定の報告がありましたけれども、何かご質問やご意見はありませんか。

山崎委員

保育士の人材確保のことですが、私は保育園を経営しているのですが、ハローワークにお願いしても、なかなか保育士が集まらないという現状があります。江別市も資料に書いてあるように色々なことをされていますけれども、少し残念な例で、私どもの保育園に実習に来ていた江別出身の学生さんに「ぜひうち

の保育士になってもらいたい」とお願いしたところ、「札幌の奨学金をもらっているため、5年間は札幌の施設に勤めないとならない」という返事でした。保育士不足で札幌市も色々な手をうっているわけですね。勤続三年で十万円、六年勤めたらまた十万円、九年勤めたら十万円など、色々あると聞いています。江別市ももちろん様々な対策を考えていらっしゃると思いますが、四大学のうち北翔大学が保育士の養成を行っていて、先ほど地域福祉計画の評価のところ、大学との連携が「4」という良い評価でしたが、保育の部分でも大学との連携を更に密にして保育士の確保をしていかないと、待機児童の解消にはつながらないと思いますので、江別市に保育士が来てくれるように、そして定着してくれるように、より一層の施策の充実を進めていただければありがたいと考えています。よろしくお祈いします。

佐藤会長

江別市も、保育士の人材確保については、あらゆることを考えながら、また他市のやり方などを参考にしながら取り組んでいることと思います。山崎委員から大変貴重なご意見が述べられましたので、これからも江別市として出来ることを進めていただきたいと思ひます。

その他に何かご質問やご意見はございせんか。

(なしの声)

佐藤会長

それでは、続いて「3 その他」に入ります。

委員の皆さん、審議会に対してのご意見や、福祉全般に関することのご意見はございせんか。

東委員

2点質問します。現在大変話題になっている新型コロナウイルスの対策ですが、今は江別市では感染者の情報はありせんが、札幌市では発生したとの情報があります。江別市としてどのような予防対策を行っているか、保健所とはどのような連携を取っているのかをお聞きします。

もう一点、昨年の社会福祉審議会でお知らせがあった生涯活躍のまちづくり事業の進展状況はどのようなになっているのか、教えていただければと思ひます。よろしくお祈いいたします。

佐藤会長

ただ今の質問について、事務局から回答をお願いいたします。

五十嵐健康推進室長

新型コロナウイルスの感染予防対策についてですが、市ホームページにおいて、手指の消毒や手洗いうがいの推奨、人混みを避ける等の対策周知を行い、ホームページを見ることができない高齢者等には、自治会回覧などで同様に周知することを検討しております。

東委員

ありがとうございました。

鈴木介護保険課参事

2点目のご質問の、生涯活躍のまち構想の進捗状況についてですが、高齢者総合計画の中で、特養、老健、看護小規模多機能の3つの施設の整備が位置づけられておりまして、進捗状況は順調と聞いております。令和2年度末の開設の予定で建設の準備が進んでおります。

東委員

ありがとうございました。

佐藤会長

その他に何かございませんか。

(なしの声)

佐藤会長

事務局から何かございますか。

村田管理課長

次回の審議会の予定ですが、開催時期は現段階では決まっておりません。また近くなりましたら、文書でご案内を差し上げますので、引き続きよろしくお願いたします。

佐藤会長

それでは、本日の審議会はこれをもって終了といたします。